

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 8 月 7 日

評価対象事業	都政	-	10	公共交通支援事業	☐ 法定受託事務
所管課	都市政策部 交通計画課			評価者	交通計画課長 大江 尚
一般	会計	款	45	項	20
目	5				
総合計画上の位置付け	分野名	総合交通		施策の方針名	交通環境の整備

1 事業の目的

対象	市民等	意図	安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。
効果	公共交通機関の輸送力の向上と利用促進を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	市内ＪＲ駅舎のプラットフォーム上に整備する可動式ホーム柵等に対する補助	市内ＪＲ駅舎のプラットフォーム上に整備する可動式ホーム柵等に対する補助	市内ＪＲ駅舎のプラットフォーム上に整備する可動式ホーム柵等に対する補助
予算額（千円）	14,166	0	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	14,166	0	0
当初人員配置数	1.0	0.0	0.0
人件費（千円）	8,537	0	0
事業実績	大船駅京浜東北根岸線のプラットフォーム上に整備した可動式ホーム柵等への補助		
決算額（千円）	14,166		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	14,166	0	0
人員配置実績数	0.2	0.0	0.0
人件費（千円）	1,657	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	駅舎のプラットフォーム上に整備する可動式ホーム柵等に対して補助を行った件数	件	1	⇒	1		
	実績につながる活動	大船駅京浜東北根岸線の可動式ホーム柵等に対して整備費用の一部を補助した				14,166		
活2	指標名	路線バスの乗務員確保に係る広報活動等件数	件	0	↗	0		
	実績につながる活動	鎌倉市地域公共交通計画に、公共交通の維持への取組として運転士不足への対応を位置付けた。				-		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因は無かった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・可動式ホーム柵等の整備費用の一部を補助したことで事業が推進した。 ・令和7年度に鎌倉市地域公共交通計画を策定した中で、公共交通維持への取組として、運転士確保の周知広報などの実施を計画に位置付けたが活動までには至らなかった。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	ホームドアの整備数	箇所 （ホーム）	2	14	2			1
成2	路線バスの必要乗務員数に対する充足率	%	93	100	93			2

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・実績に影響する外部要因は無かった
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・成果指標No.1について、J R 大船駅京浜東北根岸線のプラットフォームに可動式ホーム柵等が整備されたことで、公共交通機関の運行維持及び鉄道の輸送力及び安全性、利便性が向上したものと考えられる。 ・成果指標No.2について、令和7年度に鎌倉市地域公共交通計画を策定した中で、公共交通維持への取組として、運転士確保の周知広報などの実施を計画に位置付けるとともに、バス事業者においては独自に採用イベント等を開催するなど乗務員確保に努めているが目標は達成できなかった。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	・J R 大船駅京浜東北根岸線に可動式ホーム柵等が整備され、公共交通機関の運行維持及び鉄道の輸送力及び安全性、利便性が向上したことは本事業の成果と言える。 ・路線バスの減便が続いている状況にあり、バス事業者では採用イベントを開催するなど様々な募集活動を行っているが、市では広報等の実施に至らなかったことから、乗務員の充足率向上に十分な成果があったとは言えない。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☒ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☒ 十分に出ている	☐ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性	公平性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない
		評価実施年度の方角性	⇒ 評価実施翌年度以降の方角性		
	事業内容の方角性	☒ 事業内容は現状通り ☐ ① 事業内容は現状通りとする ☐ 事業内容は見直し済 ⇒ ☒ ② 事業内容は見直す → ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ 他事業と統合済 ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合			
	予算規模の方角性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ ⑤ 予算規模は現状維持とする ☐ 予算規模は拡大済 ⇒ ☒ ⑥ 予算規模は拡大する ☐ 予算規模を縮小済 ☐ ⑦ 予算規模は縮小する			

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	J R 大船駅京浜東北根岸線のプラットホームに可動式ホーム柵等が整備されたことで、公共交通機関の運行維持及び鉄道の輸送力及び安全性、利便性の向上が図られた。引き続き、大船駅をはじめとする市内の J R 各駅においても可動式ホーム柵等の整備を推進することで、更なる公共交通機関の運行維持及び輸送力及び安全性、利便性の向上を図る。 また、路線バス減便による公共交通の利便性の低下を抑止するため、運転士確保のための周知広報を実施することで運転士の充足率向上を図る。		上位施策への寄与度 B

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		本事業は、市内の駅舎のプラットフォーム上に整備する可動式ホーム柵等に対して補助を行うものであることから、他市比較は適切ではない。							